

株式会社 サイン・カラツ



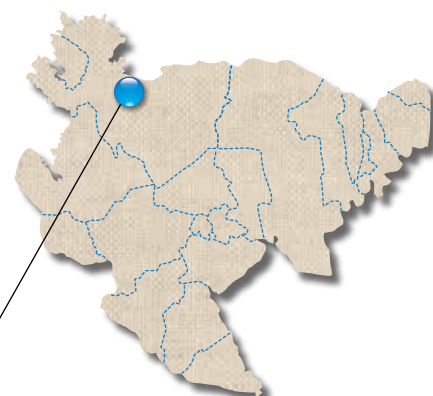
テーマ

デザイン性に優れた精密な屋内看板 (インテリアサイン)の生産体制の構築

これまで屋外看板の製作・施工を主軸に展開してきたが、景観法など各自治体の条例により屋外看板の設置に関する規制は年々厳しさを増している。佐賀県でも屋外看板についての規制が強くなっており、自治体への申請なしでは看板を設置することが難しくなっているのが現状である。しかし、その中でも近年上昇傾向にあるのがインテリアサインであり、弊社にとって同事業は、デザイン面・施工面においてこれまでの屋外看板事業のノウハウを生かしつつ事業展開していくにあたり、最も適した事業であると言え、既存の屋外看板製作事業に加え、需要が拡大してきている精密かつデザイン性に優れたインテリアサインの生産体制を構築する事を目的とする。

ものづくり技術

設備のみ



佐賀県唐津市朝日町993-2

本事業への取り組みの経緯

近年になり、ビルや施設全体のインテリアサインのお見積りをいただくことが増えてきたが、その多くは緻密な精度を求められる。パソコン上での編集や現場での施工については問題なく処理できるが、製作面では屋外看板製作で培ってきた従来の耐久性を重視した設備や技術では、精密化や納期において対応できないケースが増加。大手メーカーの機械切削技術が浸透する中、インテリアサインの製作には高度な精密性が求められ、事実上手作業での製作に限界がきており、機械化による「作業時間の短縮」と「精密性の向上」「大量生産体制の構築」が必要不可欠となり、本事業の申請を行った。



実施内容

弊社が必要とする技術は大きく分けて「精密な立体切削加工技術」と「厚みのある素材(立体面)への印刷技術」の2つで、「精密な立体切削加工技術」にはさらに物理的な刃を用いた切削加工技術と、レーザーを用いた切削加工技術が必要となる。素材に合わせそれぞれの立体切削加工技術を使い分けることにより、顧客のニーズを的確に捉えた様々な「立体造形」加工を施したインテリアサインの製作が可能となる。そこで物理的な刃を用いた切削加工技術として①CNCルーターマシン(3D立体加工)、レーザーを用いた切削加工技術として②レーザーカッティングマシン(3Dレーザー加工)、木材やプラスチックなど厚みのある素材への印刷技術として③フラットベッドプリンター(UV印刷)を導入し、それぞれの機械装置において、専用のソフトウェアを使用し操作手順を習得した。その後、インテリアサインに最適な素材を選定後、導入機械を検収し、製作過程に問題がないかどうかを精査した。

取組成果・波及効果

この事業でルーターマシン、レーザーカッティングマシン、フラットベッドプリンターの機械装置を導入したことにより、精密な立体切削加工、厚みのある素材(立体面)への印刷技術を習得し、フロア全体から建物全体のインテリアサイン製作を行うことが可能になった。また手作業から機械へと移行することにより精度向上及び納期短縮も可能になった。更にはインテリアサイン製作体制を構築することにより、作業効率、材料費・人件費などのコストが大幅に改善されることが期待できる。今後、大手資材メーカーに比べ、より安価で精度の高いインテリアサインを提供できることを武器に①既存取引先への営業②カタログ・サンプルの作成と新規顧客開拓③オンラインショップ開設から全国へ展開④オリジナルインテリア開発、展示会への出店、とステップを着実に踏むことにより、インテリアサイン製作事業を弊社の新たな主軸とするべく事業を成長・発展させていくことで、業界の底上げにもつながると考えられる。



取締役
栗山 拓也

今後の展望・活動予定

インテリアサイン製作事業をさらに拡大した、内装全般のデザイン・施工事業や、3D加工技術に特化した技術者の育成・研修事業など今回のインテリアサイン製作事業は当社にとって大きな可能性を秘めた事業です。当社では大手のように生産ラインに縛られることなく自社製作する体制を整えることにより、高品質で低価格なオーダーメイドインテリアサインを提供できることを強みとして販路の拡大を図ります。将来的には顧客のニーズに応じた弊社オリジナル製品を開発することにより、全国への販路拡大へ向けたオンラインショップの開設・販売を目標としています。

企業名	株式会社 サイン・カラツ
代表者	栗山 敏幸
住所等	〒847-0841 佐賀県唐津市朝日町993-2
連絡先	TEL 0955-72-2651 FAX 0955-53-8261 E-mail: tksign@gmail.com
資本金	1,000万円
設立年月	平成6年12月
従業員	3人
業種	その他の事業サービス業